

政策整理番号 24

評価シート(A)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部男女共同参画推進課	関係部課室	環境生活部青少年課, 保健福祉部障害福祉課, 長寿社会政策課, 地域福祉課
------	-----	-------	----------------	-------	---------------------------------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	3 - 7 - 3	政策名	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成
------	-----------	-----	-----------------------------

政策概要	家庭、地域、職場などあらゆる場面において、性別や年齢、障害の有無などに関係なく、一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。
------	--

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標	達成度
1	男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり すべての男女がともにその個性と能力を発揮し、あらゆる分野で協力し合う「男女共同参画社会」の実現のため、男女が性別にかかわらずあらゆる場に対等に参画できるような環境づくりを目指します。	県の審議会等委員の女性比率	B
2	青少年の社会参加 次の時代を担う青少年が、地域活動やボランティア活動などを通して積極的に社会にかかわり、社会性が豊かにはぐくまれていく社会を目指します。		
3	障害者の社会参加 障害者が地域の中で自立し、いきいきと暮らすことのできる社会づくりを目指します。		
4	高齢者がいきいきと生活する社会づくり 高齢者がその能力を生かして社会に貢献し、いきいきと暮らすことのできる社会づくりを目指します。	高齢者のうち就業・社会活動している者の割合	...
5	女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護 認知症高齢者や知的障害者、精神障害者などの方々福祉サービスを適切に利用し、住み慣れた地域で自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供や利用に関する体制づくりを目指します。	提供するサービスに関し第三者評価を実施した入所施設の割合	A

達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
C(目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す方向と逆方向に推移している), ... (現状値が把握できないため判定不能)

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

	第5回(H17)	参考:第1~4回の推移	第4回(H16)	第3回(H15)	第2回(H14)	第1回(H13)
重視度(中央値、点) A	70.0	重視度 A	70	70	70	70
満足度(中央値、点) B	50.0	満足度 B	60	59	59	60
かい離 A-B	20.0	かい離 A-B	10	11	11	10
【かい離度】	【高い】	【かい離度】	【中】	【中】	【中】	【中】
満足度60点以上の回答者割合(%)	41.2	満足度60点以上の回答者割合	52	49.5	49.9	-

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第1~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切

概ね適切

課題有

A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 概ね適切 ・政策目的の実現のためには、性別、年齢、障害の有無にかかわらず、全ての人が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる活動に参画する機会が確保され、ともに責任を担う社会を実現する必要があり、各施策全てが必要と認められる。 【施策の重複・矛盾点の有無】 概ね適切 ・施策1で男女が性別にかかわらず、あらゆる場で対等に参画できる環境づくりを推進し、施策2で次代を担う青少年の社会参加を促進するとともに、施策3で障害者の社会参加を促進し、施策4で高齢者がいきいきと生活できる社会づくりの推進、施策5で女性や子ども、高齢者、障害者等の人権擁護のための体制を整備するもので、各施策における重複等は認められない。
A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 概ね適切 ・本政策は、満足度は50点と低調だったが、重視度は70点と高くなっており、かい離が20と高い水準を示している。また、全ての施策においてもかい離が非常に高くなっていることから、県民が必要とする政策であると判断する。

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括	
	優先度 (直近の3回)	県民が必要と感じているか()				
1	第5回	37.5%	1位	・本施策の優先度は 5施策中 1位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: 非常に感じている	・国においては21世紀の最重要課題とされている男女共同参画社会の実現は、県においても重要な課題であり、県民の優先度は最も高くなっている。 ・宮城県男女共同参画基本計画に基づき施策の着実な実施が重要であり、引き続き重点的に取り組む必要がある。	大
	第4回	35.2%	1位			
	第3回	35.8%	1位			
2		9.5%	4位	・本施策の優先度は 5施策中 4位である。 ・本施策のかい離は 25.0点と 高い。 【結論】必要性: 比較的感じていない	・NPOなどで活動する青年が増えてきているものの、既存の青年団体への参加者が減り、組織化されない青年が増加し、地域社会との関わりが希薄となっている。 ・次代を担う青少年が社会の一員として、主体性を持って行動することが重要であり、施策は必要である。	大
		10.0%	4位			
		10.4%	4位			
3		4.5%	5位	・本施策の優先度は 5施策中 5位である。 ・本施策のかい離は 25.0点と 高い。 【結論】必要性: 比較的感じていない	・スポーツや芸術文化活動への参加は心身の機能訓練、生きがいの創造、社会参加意欲の促進といった視点から非常に重要なことであり、今後も引き続き当該施策に取り組み、障害者の社会参加を促進していく必要がある。	大
		6.1%	5位			
		7.0%	5位			
4		25.4%	2位	・本施策の優先度は 5施策中 2位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: 非常に感じている	・県民の優先度は第2の施策であり、特に65歳以上では第1位である。 ・2015年(平成27年)には団塊の世代が高齢者(高齢化率H17.3末19.7% 24.1%)になり、介護予防の観点からも元気高齢者の社会参加の促進のための環境づくりはますます必要になってくる。	大
		27.2%	2位			
		27.2%	2位			
5		21.9%	3位	・本施策の優先度は 5施策中 3位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: 非常に感じている	・県民の優先度は第3位の施策である。 ・かい離は30.0点と非常に高く、県民はこの施策の必要性を非常に感じている。 ・高齢者虐待防止法の制定などの動きもあり、重点的に取り組む必要がある。	大
		20.8%	3位			
		19.2%	3位			

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 概ね適切
 ・3の指標のうち2指標を概ね適切と判断した。
 ・施策4の指標については、5年ごとの指標値であるため、施策の有効性を評価するうえであまり適切とは言えない。施策を適切に評価できる指標を検討したい。

【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切
 ・重視すべき施策のうち、県が事業展開を図っている施策1、4、5に指標を設定しており、適切である。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視 点	政策全体	施策1	施策4	施策5			
政策評価指標達成度	概ね有効	概ね有効	判定不能	有効			
県民満足度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	課題有			
社会経済情勢	有効	概ね有効	有効	有効			
全 体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効			

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・A-1政策の必要性は高いと判断する。施策の設定は概ね妥当である。
 ・A-2ほとんどの指標が施策の有効性を評価するうえで適切である。
 ・A-3政策評価指標を設定している施策3つのうち、施策5は目標を達成した。施策4については5年ごと指標であるため達成度が不明であるが、施策1については目標を達成していないものの、指標が目指す方向に推移しており施策は概ね有効だったと判断する。
 ・A-1~3の各項目を総合的に判断し、「概ね適切」と判断した。

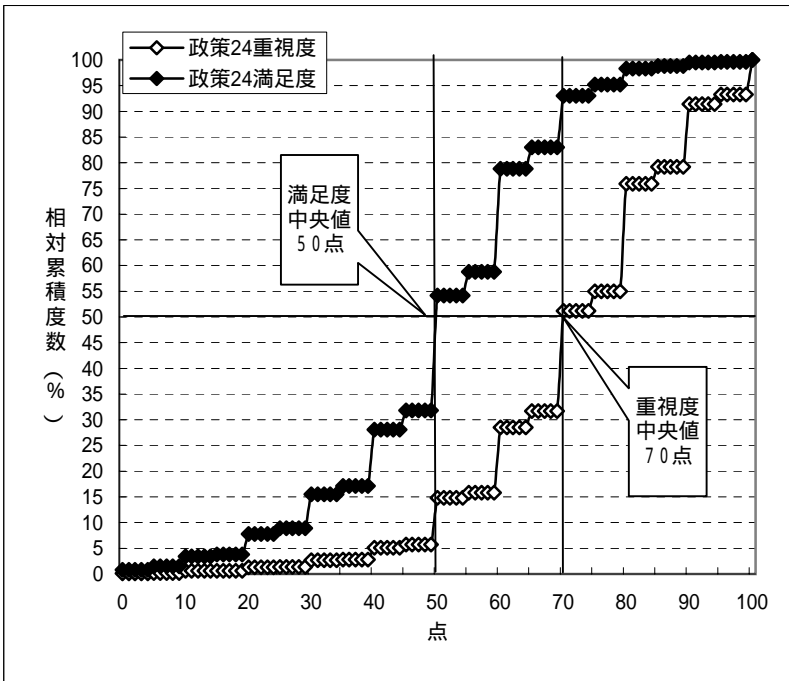
対象年度 H17

政策番号 3 - 7 - 3

政策名 男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 79.2 高認知度 32.9



高関心度
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した回答者の全回答者に対する割合

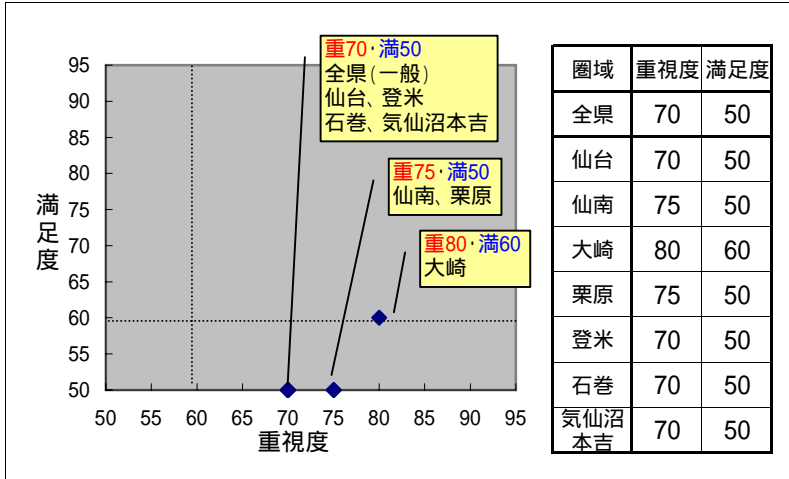
高認知度
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っている」、「ある程度知っている」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	70	75	50	55	60
第1四分位	-	-	-	40	50	50
第3四分位	-	-	-	60	60	70
四分偏差	-	-	-	10	5	10

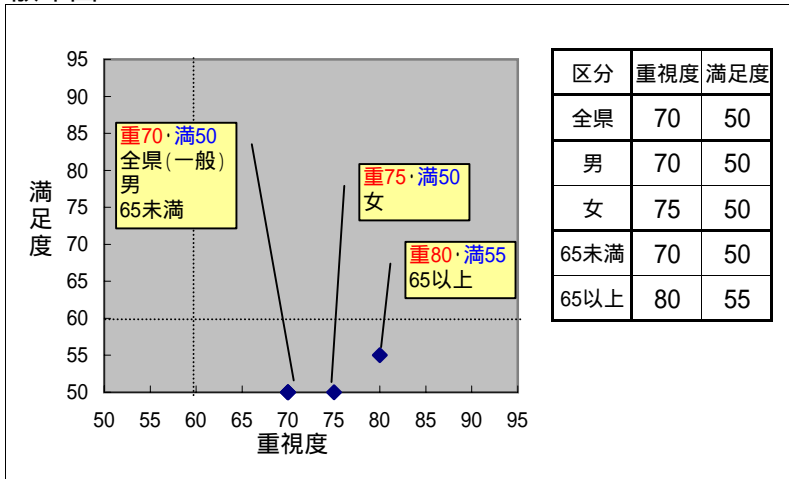
圏域別中央値(一般、市町村のみ)						
圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	70	-	50	55	-
仙台	70	70	-	50	55	-
仙南	75	70	-	50	50	-
大崎	80	70	-	60	60	-
栗原	75	65	-	50	60	-
登米	70	70	-	50	60	-
石巻	70	60	-	50	50	-
気仙沼本吉	70	70	-	50	57.5	-

男女別・年代別中央値(一般のみ)						
区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	-	-	50	-	-
男	70	-	-	50	-	-
女	75	-	-	50	-	-
65未満	70	-	-	50	-	-
65以上	80	-	-	55	-	-

散布図



散布図



対象年度 H17

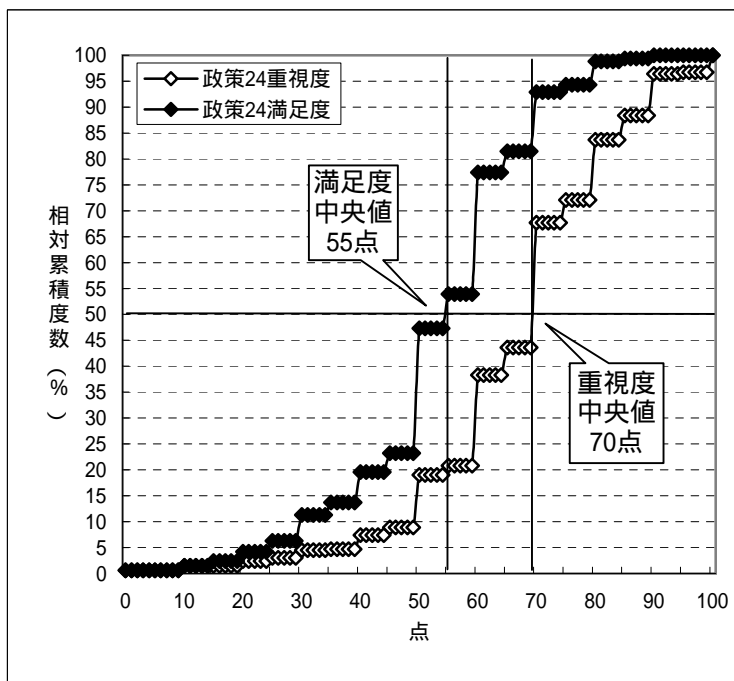
政策番号 3 - 7 - 3

政策名 男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成

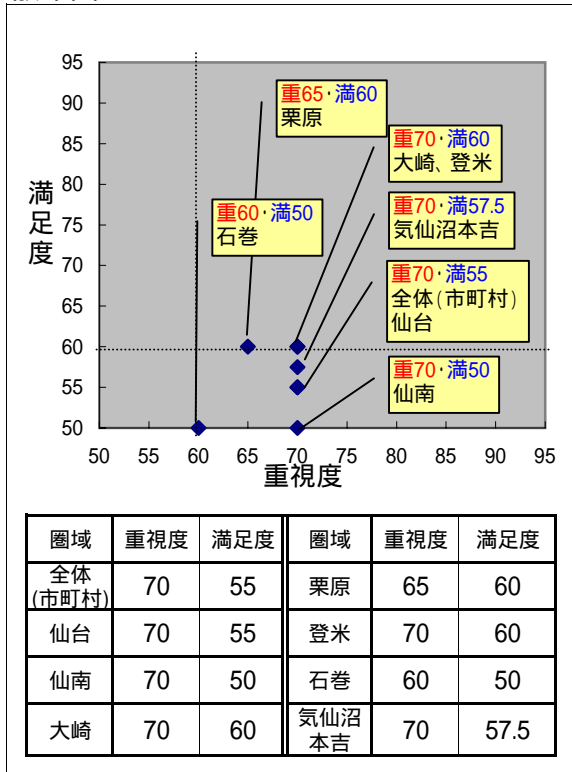
(2) 有識者(市町村職員)満足度調査結果

高関心度 66.4

高認知度 49.1



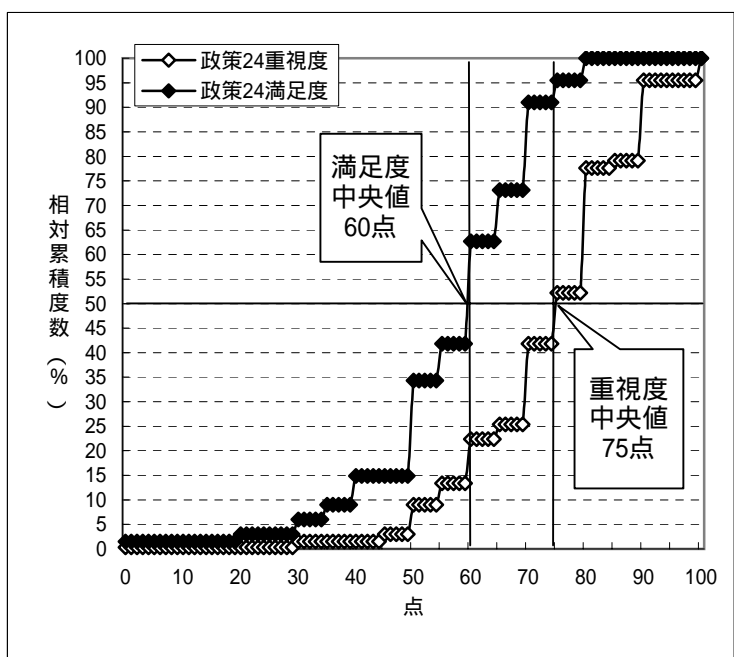
散布図



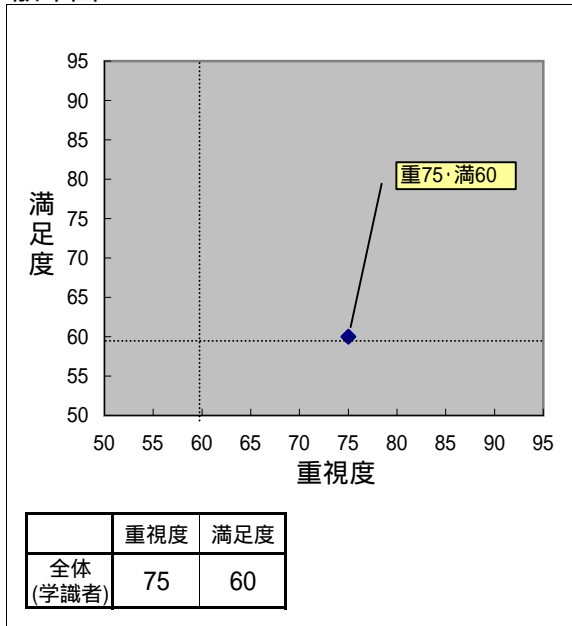
(3) 有識者(学識者)満足度調査結果

高関心度 92.7

高認知度 61.8



散布図

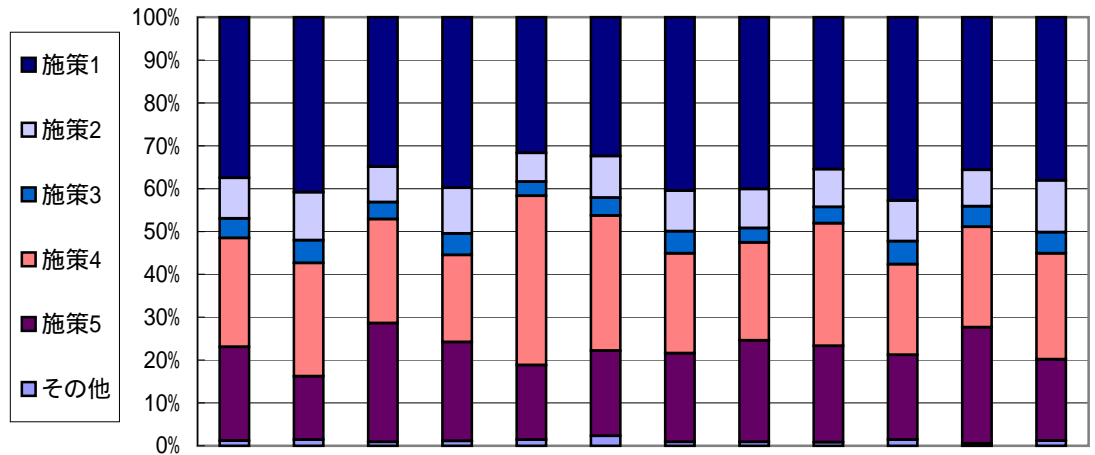


対象年度 H17

政策番号 3 - 7 - 3

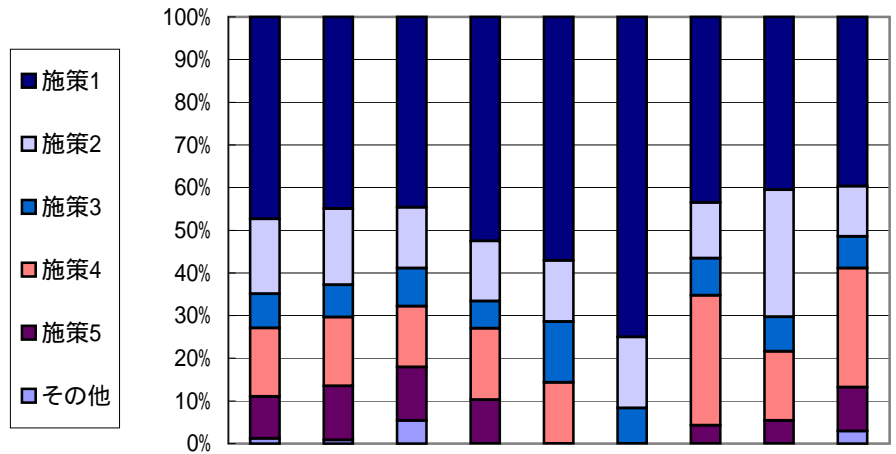
政策名 男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉
施策1	男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	37.5	40.9	34.9	39.8	31.7	32.4	40.5	40.1	35.5	42.8	35.6	38.1
施策2	青少年の社会参加	9.5	11.2	8.3	10.7	6.7	9.7	9.5	9.1	8.8	9.5	8.5	12.1
施策3	障害者の社会参加	4.5	5.3	3.9	5.0	3.3	4.2	5.2	3.4	3.8	5.4	4.8	4.9
施策4	高齢者がいきいきと生活する社会づくり	25.4	26.5	24.3	20.3	39.5	31.5	23.3	22.8	28.6	21.2	23.4	24.7
施策5	女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	21.9	14.8	27.7	23.1	17.4	19.9	20.7	23.7	22.5	19.8	27.1	19.0
	その他	1.2	1.4	0.9	1.1	1.4	2.3	0.9	0.9	0.8	1.4	0.5	1.2

(5) 有識者(市町村職員・学識者)満足度結果(施策別・優先度1位割合)



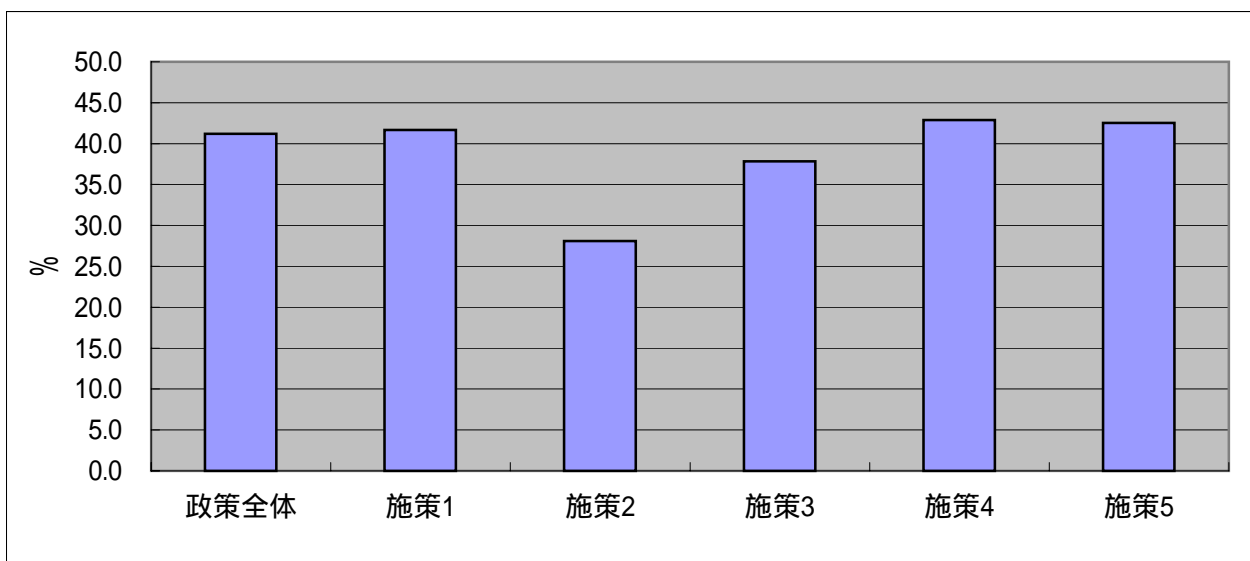
施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	
施策1	男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	47.3	44.9	44.6	52.6	57.1	75.0	43.5	40.5	39.7
施策2	青少年の社会参加	17.6	17.8	14.3	14.1	14.3	16.7	13.0	29.7	11.8
施策3	障害者の社会参加	8.0	7.6	8.9	6.4	14.3	8.3	8.7	8.1	7.4
施策4	高齢者がいきいきと生活する社会づくり	16.1	16.1	14.3	16.7	14.3	0.0	30.4	16.2	27.9
施策5	女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	9.8	12.7	12.5	10.3	0.0	0.0	4.3	5.4	10.3
	その他	1.2	0.8	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9

対象年度 H17

政策番号 3 - 7 - 3

政策名 男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成

(6) 政策・施策満足度60点以上の回答者割合(一般県民、単位:%)



施策番号	施策名	第5回							
	政策全体	41.2							
施策1	男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	41.7							
施策2	青少年の社会参加	28.1							
施策3	障害者の社会参加	37.8							
施策4	高齢者がいきいきと生活する社会づくり	42.9							
施策5	女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	42.5							